

公的資金補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画執行状況について

平成19年度補償金免除繰上償還に係る、病院事業の公営企業経営健全化計画について、平成20年度決算の実績に基づく執行状況をお知らせします。

なお、執行状況については、国に健全化計画の承認を得る際に審査のポイントとなった「地方債現在高（病院会計）」「実質公債費比率（普通会計）」「累積欠損金比率（病院会計）」「職員数」「改善額（行財政改革の結果得られる経費削減額などのこと）」の5つの指標について示しています。

平成20年度決算時点において、「1. 地方債現在高」「2. 実質公債費比率」「4. 職員数」「5. 改善額」の各指標について、経営健全化計画で掲げた目標を達成できています。「3. 累積欠損金比率」については、入院・外来患者数の減少により、医業収益が減少したことにより、計画値よりわずかに下回っています。

22年度以降については、佐久穂町病院事業経営健全化計画に掲げている目標に沿って改善を進めてまいります。

1. 地方債現在高（病院会計）

（単位：百万円）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計画目標値 A	238	147	100	52	3
実績値 B	238	147			
乖離値C(A-B)	0	0			

2. 実質公債費比率（普通会計）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計画目標値 A	13.1%	12.6%	12.8%	12.2%	11.6%
実績値 B	13.1%	12.6%			
乖離値C(A-B)	0.0%	0.0%			

3. 累積欠損金比率（病院会計）

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度
計画目標値 A	29.0%	30.3%	29.9%	28.8%	27.1%
実績値 B	26.4%	30.4%			
乖離値C(A-B)	2.6%	△0.1%			

※営業活動によって欠損を生じた場合、この欠損金を埋めるための処理として、繰越利益剰余金等で補てんする方法があるが、それでもなお補てんできなかったものの各事業年度の損失（赤字）額の累積されたものを累積欠損金という。この累積欠損金を当年度

の医業収益で除したものを累積欠損金比率という。

4. 職員数（病院会計）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
計画目標値 A	83	83	82	80	80
実績値 B	83	82			
乖離値 C(A-B)	0	1			

5. 改善額（病院会計）

（単位：百万円）

	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度	平成 23 年度
計画目標値 A	3	6	9	12	15
実績値 B	55	10			
乖離値 C(A-B)	-52	-4			

※ 繰上償還に伴う経営改革の効果を改善額という。表には、外来収益と入院収益の改善額の合計を記載しています。